

多面的機能支払交付金の取り組み状況の推移について

農地維持支払

・県内において、191組織が7,313haの農用地を事業計画に位置付けて活動に取り組んでいる。
 【前年比】 5組織、314haの減

資源向上支払(共同)

・県内において、170組織が6,978haの農用地を事業計画に位置付けて活動に取り組んでいる。
 【前年比】 13組織、428haの減

資源向上支払(長寿命化)

・県内において、110組織が4,155haの農用地を事業計画に位置付けて活動に取り組んでいる。
 【前年比】 2組織、292haの増

(1) 農地維持支払の取り組み組織数、取り組み面積の推移

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H28からH29の増減
活動組織数	91	105	111	120	128	144	156	160	191	196	191	-5
対象農用地面積(ha)	5,554	5,782	5,960	6,156	6,302	6,462	6,672	6,814	7,547	7,627	7,313	-314

(2) 資源向上支払(共同活動)の取り組み組織数、取り組み面積の推移

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H28からH29の増減
活動組織数	91	105	111	120	128	144	156	160	179	183	170	-13
対象農用地面積(ha)	5,554	5,782	5,960	6,156	6,302	6,462	6,672	6,780	7,348	7,406	6,978	-428

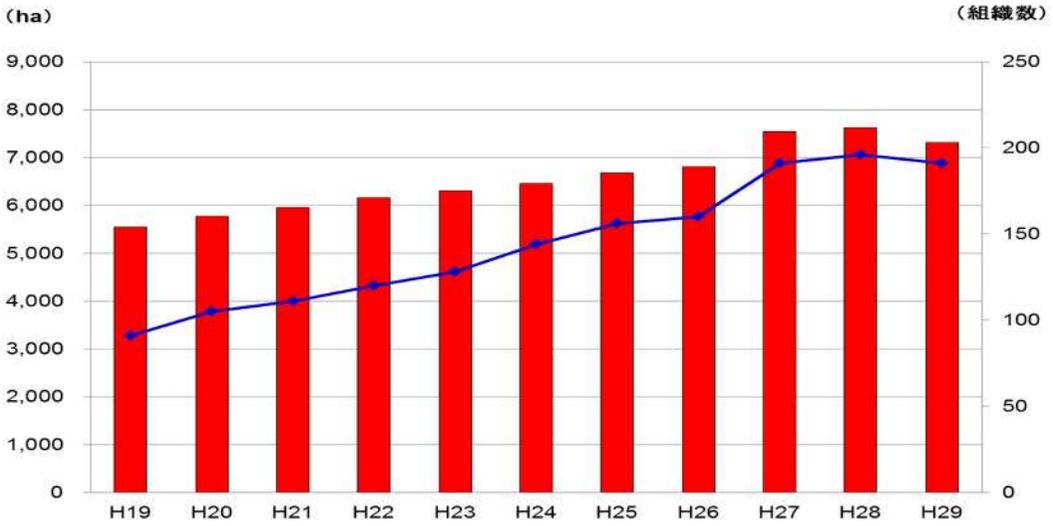
(3) 資源向上支払(長寿命化)の取り組み組織数、取り組み面積の推移

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H28からH29の増減
活動組織数	平成23年度から実施				43	75	91	93	102	108	110	2
対象農用地面積(ha)	平成23年度から実施				1,192	2,258	3,404	3,559	3,736	3,863	4,155	292

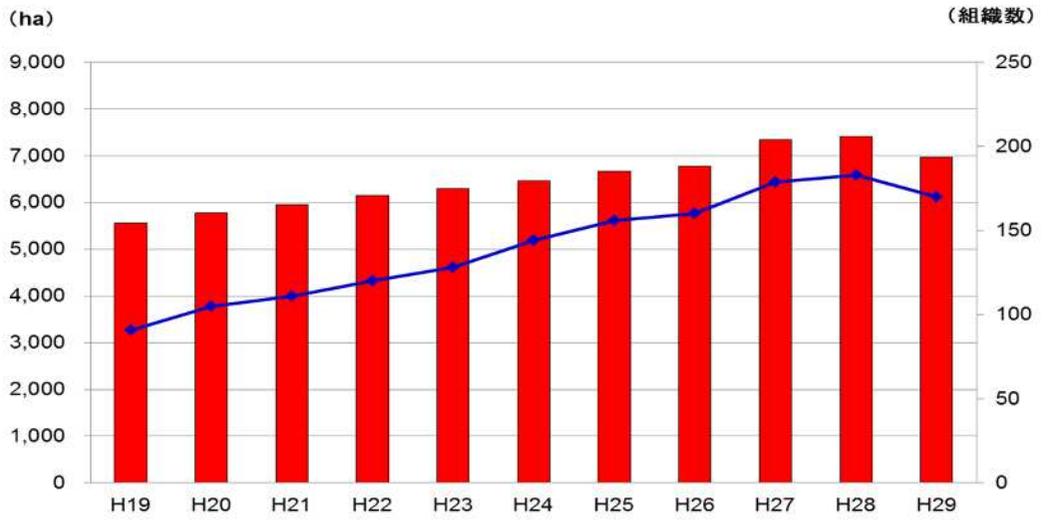
H19～H25は農地・水・管理支払交付金における取り組み状況を参考として記載している。

多面的機能支払交付金の取り組み状況の推移について

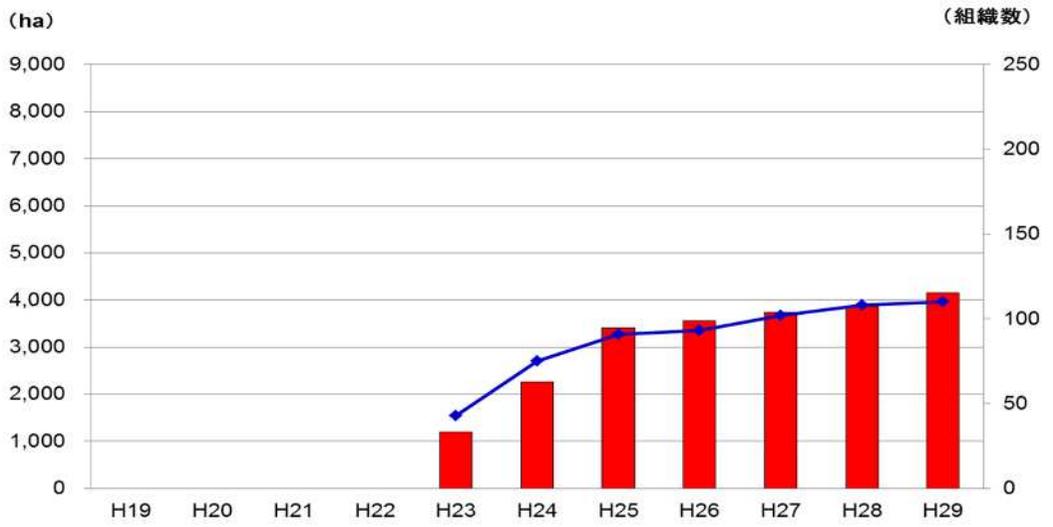
農地維持支払の取り組み状況
(H19～H25農地・水支払(共同活動))



資源向上活動(共同)の取り組み状況
(H19～H25農地・水支払(共同活動))



資源向上活動(長寿命化)の取り組み状況
(H23～H25農地・水支払(向上活動))



■ 対象農用地面積(ha) ◆ 活動組織数

農地維持支払と共同の減少について

H19から始めた活動組織がH28で10年目であったため、活動の節目にあたる組織が多かったことから、取り組みを廃止した組織も多かったことが要因といえる。(活動は原則5年間行う)

長寿命化の増加について

農地維持と共同を既に行っていた活動組織が、H29から追加で始めた活動組織が多かったことが要因といえる。